

2009年8月12日

## 松戸2病院閉鎖による医療の後退を許さず

### 地域医療充実と雇用の確保を求める要望書

日本共産党松戸・鎌ヶ谷地区委員会  
地区委員長 山崎温之  
日本共産党松戸市議会議員団  
日本共産党千葉県議会議員みわ由美

さる8月2日、各紙がいっせいに、松戸市内の民間総合病院である五香病院と新八柱台病院の2病院の突然の閉院を報道しました。報道の二日前7月31日の閉院という異常事態に、多くの市民が驚いたのは当然です。駅前の7階建ての新八柱台病院と、新京成沿線の3階建ての五香病院が、何の予告もなく閉じられたのですから、「寝耳に水だ」「どうしたらいいのか」と大きな不安が広がり、その重大な影響は計り知れません。

既に、患者さんや一般市民の方からは、「なぜ、知らされなかったのか」「これから、どこにきて貰えばいいのか」「不安でたまらない」「病院は再開できるのか」「行政は何をしている」等、訴えは日に日に広がるばかりです。他の病院の患者さんからも、2病院閉鎖により「患者の移動で、混み具合が増した」などの声も聞かれ、影響は広範囲に及んでいます。また、医療従事者の方たちの給与未払いや、雇用問題なども極めて深刻で、周辺の地域経済に与える影響も軽視できません。

県の報告では、2病院で入院できる一般病床数は124床、一日の外来患者数は平均427人にものぼり、約200人近くの医療関係者（医師18人看護師56人その他の職員）が従事しており、診療科目は、それぞれ内科・外科・整形外科・皮膚科・肛門科など9～12科目の幅広い医療が可能な総合病院でした。ベッドが減った分だけ、東葛北部の保健医療圏の国基準病床数が、ほぼ120床不足になったことは、重大です。また、救急指定病院ともなっており、産業医や健康診断などの役割も果たしていただけに、地域医療への支障が、強く懸念されます。

いったい、なぜ、前代未聞ともいふべき異常事態になったのか。県が、病院の開設を許可した時は、全く問題はなかったのか、監督責任はどうか、突然の閉院を許した県の責任は、やはり重大だと言わざるを得ません。

よって、県として、地域医療の後退を放置することなく、医療の充実と雇用の確保にむけて、緊急の取り組みを進め、県民や医療関係者の不安を解決するため、最善の努力を尽くして頂くよう、宜しくお願いいたします。

#### 記

1. 患者さんや、医療が必要な方たちの不安を、一日も早く取り除くため、万全の手立てを講じること。
2. 医療従事者への給与未払い問題解決や、雇用確保のため、関係機関にも働きかけ全力を挙げること。
3. 2病院が、地域や市の体制の中で、果たせなくなった役割について支障が生じないようにすること。
4. 東葛北部圏域の医療体制に生じた120床の病床不足は、国基準数さえ満たしていない由々しき事態です。早急な解決のため、県として、あらゆる手立てを尽くすこと。
5. 今後の医療体制の確保に向けて、病院の再開や新設など、県として努力し保障すること。
6. 今回の民間2病院の閉鎖に際し、公立病院である松戸市立病院が受け皿になりえなかったことは深刻です。松戸市立病院の医師・看護師不足や、病棟閉鎖問題の解決に向けて、県としても補助金の復活・増額など、支援をおこなうこと。

以上

**助けて！！** 松戸市内から不安の声あいつぐ 県や市の責任は

## 「寝耳に水」新八柱台・五香病院閉鎖

患者さんからは

「困った。私はどこの病院に行けばいいのでしょうか・・・」

看護師さんなど複数の医療従事者からは

「七月分の給与も未払いのまま解雇とは！」

総選挙勝利の闘いの先頭にたつ **山崎候補にも直接要望が**

**森田健作知事あて** 松戸市議団先頭に

# 緊急対県交渉決定！！

8/12（水）午前 10 時集合 10 時半交渉開始

場所 **千葉県庁 県議会棟一階 第一会議室**

交渉内容 松戸 2 病院閉鎖による医療の後退は許されない

地域医療充実と雇用の確保を求める交渉

（党松戸鎌ヶ谷地区・党松戸市議団・県議みわ・・・名で交渉します。）

労働相談を受けている関係者も参加しますので、党市議団や地域支部の方で、選挙課題などとの関係が調整できる方は、代表でご参加下さい。

連絡・問い合わせ先 みわ由美 090-4934-8118